

ACCで実施している 「がん検診」研究

目的

薬害HIV感染被害者に対して、悪性腫瘍を早期に発見し、全国どこの施設でも実施可能な癌スクリーニングの方法を確立する。

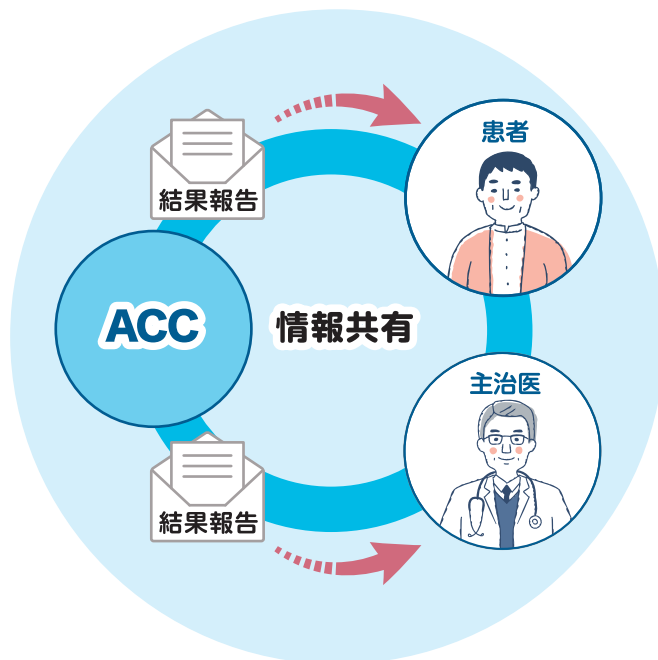
検査項目

甲状腺・前立腺を含んだ胸腹部造影CT、頭部MRI、上部消化管内視鏡、便潜血、腫瘍マーカー検査、生活習慣病関連検査、女性の方に、婦人科検診とマンモグラフィ検査。

問い合わせ先

国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター (ACC)
救済医療室
電話(直通) 03-6228-0529

- ・各ブロック拠点病院でもがん検診を受けることが可能です。
- ・かかりつけ医の紹介状をご用意ください。



結果は、患者さん本人と主治医にお伝えします。

検査で異常が見つかった場合は、患者さんに合った最善の治療・先進医療にお繋ぎいたします。

令和7年度 厚生労働科学研究費補助金 (エイズ対策政策研究事業)

「HIV感染血友病患者に対する悪性腫瘍スクリーニング法と非侵襲的治療法確立のための研究」

研究代表者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター 救済医療室長 上村 悠

薬害HIV感染被害者の方へ

ACC で

がん検診

「受けられます」



検査等諸費用は研究費でお支払いいたしますので自己負担は基本ありません。

がんは、
早期発見・早期治療が大切です。
お気軽にACCに
お問い合わせください。

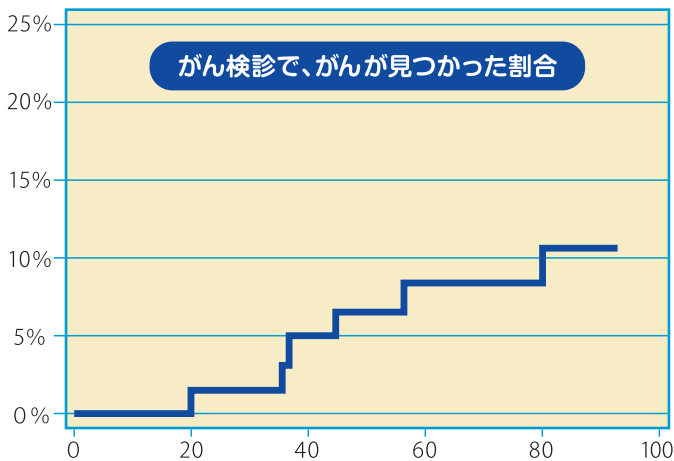
国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター (ACC)

高齢に伴い

がん診断例

が増えています

薬害被害者を対象とした「がん検診研究」では9年間の研究を行いました。100人のうち年間1.5人ががんと診断されるという結果でした。



厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）ヶ月
研究代表者：上村悠（国立国際医療研究センター ACC）

診断されたがんは、肝がんだけでなく、肺がん、大腸がん、精巣がん、甲状腺がんと多彩でした。住民健診だけでは必ずしも十分といえない結果でした。本研究では、頸部から骨盤までの造影CT、胃カメラ、腫瘍マーカー（AFP、CEA、PSA）、便潜血⇒陽性ならば大腸カメラ、頭部MRI検査、女性の方にはマンモグラフィの検診を実施しています。



検診申込 ACCに連絡

主治医と相談 診療情報提供書作成



検診実施

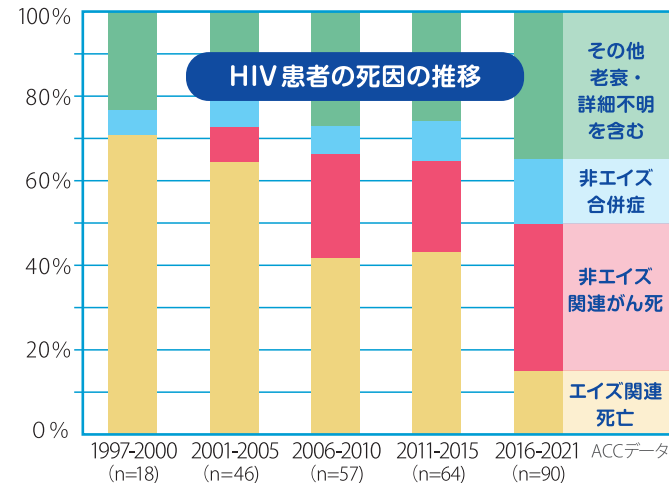
CT・胃カメラ・MRI・大腸カメラ・採血などの検診



非エイズがんでの死亡

が増えています

ACC通院中のHIV患者の死因の推移をみるとエイズ関連死亡は激減し、通常のがんによる死亡が増加しています。



非エイズ癌での死亡が増えています。HIV治療の進歩に伴い、ACC通院中のHIV患者の死因の推移をみるとエイズ関連死亡が減少し、通常のがんの死亡が増えています。非エイズ関連癌による死亡年齢は50~60代と比較的若年でした。死亡の原因となったがんは、大腸がん、肺がん、膵がん、白血病、食道がん、咽喉がんの順に多くありました。